



2019-20 年度地区方針「グローバルに考え 地域社会とつながり ロータリーを成長させよう」

本日 第2362回 2020年1月24日(金) No. 2244

本日のプログラム Today's Program 担当者:職業奉仕委員会

点 鐘 12:30 職場例会 於瀬戸寮業試験場

前回 第2361回 2020年1月17日(金) 記 録

○出席者:会員 24 名中 19 名出席 出席率 79.166%

会長あいさつ 加藤 清久



本日はわが家族の話です。昨年、次男が会社勤務をやめて南知多野間で農業をはじめました。

今年から本格稼働するのですが、実は、農業は誰でも勝手に出来ず、その地に居を構え、農業の勉強実習、そして、農業組合理事の承認を得て始められるのです。

現在の農業の実態は、世代交代の最中でなかなか継ぐ人がおらず、次男が始めると云ったら、皆さんから農機具をいただいたり農地も貸していただけたのです。

最初は、本当にやれるかと心配しましたが、真剣に取り組み始めたので、今は応援しています。あらためて考えてみましたが、人生、挑戦することは大切で、次男に教えられた気持ちです。

ロータリー精神の「超我の奉仕」、「最も奉仕する者最も報われる」も、ある意味では、挑戦を指しますので、これから、親子揃って大いに競いあって行こうと考えている次第です。

幹事報告

・1/11(土)2020 学年度米山奨学生第3次選考会  
於がバナー事務所 山田地区委員長 出席  
本日の会合:第1回創立50周年記念事業実行委員会  
於尾張旭市商工会館内 例会場 13:40~

ニコボックス

- 本日は阪神淡路大震災より 25 年経ちました。災害は忘れた頃にやってくる。皆さんご留意を。  
加藤 清久さん
- 久し振りにゲスト無く、身内でクラブ例会が開けます。ゲストがいらっしやると緊張します。  
加藤 清久さん
- 田中さん、自己紹介頑張ってください。  
舟橋 龍秀さん、中森 正裕さん
- 明日はセンター試験です。監督者として受験生が全力を出せる様サポートします。岡本 和士さん
- 新年会でお酒を飲む機会が多いと思います。休肝日を作りましょう。  
熊澤 功さん

第1回創立50周年記念事業実行委員会

日時:2020年1月17日(金) 13:40~  
場所:尾張旭市商工会館内 講習会室(例会場)  
議題:1) 事業企画並びに予算概要について  
収支内容を検討した。

職業奉仕月間

	1月31日(金)	2月7日(金)	2月14日(金)	2月22日(土)
例会予定	休会	卓話担当者:仲澤 昌容さん 卓話者: 〃 演題:「ロータリーで学んだこと」	卓話担当者:IM 実行委員会 卓話者:箕輪 良孝 IM 実行委員長 演題:「クラブフォーラム」	(21日振替) 第2760地区2019-20年度 インターティミーティング(IM) 於:キャッスルプラザ ホスト:尾張旭 RC 受付:12:00 開始:12:30

## 2) 今後の展開について

下記担当部門◎の委員を長として4月までに企画立案し、2020-21年度クラブ事業計画及び予算に反映する。

企画立案が整った時点で予算は確定する。

担当部署全員 箕輪良孝 舟橋龍秀 松永洋子  
は全部署所属

式典及祝賀会◎古橋 裕志 井田 武憲 森井 晴生  
中森 正裕 宮本 友未 熊澤 功

記念建造物◎西尾 輝久 加藤 清久 桜井 雅博  
古橋エツ子 金森 俊輔 谷口 亜弥

記念イベント◎山田 直樹 菊田 利昭 仲澤 昌容  
岡本 和士 田中 祐子

寄付事業 (財団 米山 他)

◎江尻 豪 飯田 幸雄 谷口 伸夫  
森 康美

記録 (記念誌等)

◎井田 武憲 桜井 雅博 松永 洋子  
谷口 亜弥 田中 祐子

## 卓話



こんにちは。30分という時間、自己紹介するという経験は初めてで緊張しております。スライドを準備して参りましたが、うまく接続できなかつたので口頭のみとなり不安であります。どうぞ宜しくお願い致します。

1980年埼玉県生まれ。兄が2人おりまして、女の子末っ子として溺愛されて育ちました。自ら発言せずとも心地よい環境ができていたのもあってか、「自分の意見を言う」「自分の気持ちを伝える」ということが苦手で、引っ込み思案、人見知りな幼少期でもありました。

そんな環境であったからこそでしょうか。思春期で反発心というか「自立したい」「自分で決めたい」「変わりたい」という気持ちも大きく、高校生の時には両親の反対を説得して、学校を1週間休んでホノルルマラソン大会に出場しました。自分で決めて練習して、大会に申し込んでパスポートを取って、自分の貯金を旅費とし、完走し帰国。「自分に責任を持つことで自由になれる」というこの時の体感、その後の自分の価値観に大きな影響を及ぼしました。

その後、早稲田大学人間科学部に入学。『公衆衛生学』専攻でした。『公衆衛生』とは“広く地域社会の人々の疾病を予防し、健康を保持・増進させるため、公私の諸組織によって組織的になされる衛生活動。母子保健・学校保健・成人保健・環境衛生・産業衛生・食品衛生・疫学活動・人口問題などを対象とする学問”です。ここでの学びがまさに今私が仕事として取り組んでいるものなのですが、その頃勉強はさておき、部活動にばかり熱中しておりました。そんな中、大学3年生就職活動が始まりました。就職氷河期、1日何社も企業回りをし、履歴書を何枚も書きという日々を数か月送っていました。ですが、ふと相手企業に合わせた志望動機を無理やり絞り

出して書いている自分に気づき、「自分は何をしたのか」という問いとぶつかってしまいました。そこで就職活動をやめ、大学を休学し、スペインに留学しました。

スペインでは、欧米各国の若者たちとルームシェアをして過ごしていました。そこで、「自分の意見を言わないのは、考えていないのと同じ」という“自己主張“の重要性と必要性についてかなりトレーニングができました。また多様性についても自分の中でかなり枠が広がりました。

帰国し、大学を卒業し韓国系医療機器メーカーの東京支社に就職しました。ある営業先の女性経営者に良くして頂き、名古屋支店に呼ばれました。そこで、現在の夫と出会いました。そして、その女性経営者は義母となりました。結婚し、仕事をやめ、尾張旭に転居。すぐに長女を授かり、出産子育てと怒涛の日々の中、心身病んでしまいました。そこでの経験から、産前産後の女性の身体とこころ、取り巻く社会環境等について学び、ケアする為の資格である「産後指導士」を取得しました。現在は藤が丘で『マタニティ&産後ケアスタジオ studio Forest park』を経営。妊婦さん～産後～更年期の女性のケアや、企業の従業員向け健康増進教室や高齢者向け介護予防教室等も行っております。

またもう1つライフワークとして、尾張旭チアダンスチーム「旭ルミナス」を運営しています。メンバーは幼児～50代まで総勢80名。地域イベントへの出演や、高齢者施設への慰問を行っています。活動は「尾張旭をみんなで盛り上げよう！」を目的とし、来年で設立10年となります。

友人0人から始まった尾張旭での母としての第2の人生。温かい土地柄や人に助けられ、気づけばたくさん仲間や同志ができました。大好きなこの街に恩返ししていきたい。

ロータリーでの先輩方の言葉や姿勢から学ぶものが多く、またさらなる繋がりにワクワクしております。これからも皆様からご指導頂戴しながら、精一杯精進していきたいと思っています。

## 1月10日卓話



「OSCN」と尾張旭市との協働による交通安全教育の取組

尾張旭市役所 市民活動課 主査 熊崎 優

子ども・大人・親子が、楽しく学べる自転車の交通安全教育。行政・警察・学校・民間企業との連携や協働により地域で考え、繰り返し実施する交通安全教育を実施。

